

水道料金は 全国に誇れる 低料金

現行の水道料金は、昭和四十九年四月に改定以来、十五年間据置いて、水道事業の健全経営に当たってきましたが、この間、他市町の料金は三年から五年毎に改定をしておりますので、当市の料金は県内では最低、全国でも十九位内に入る低料金です。

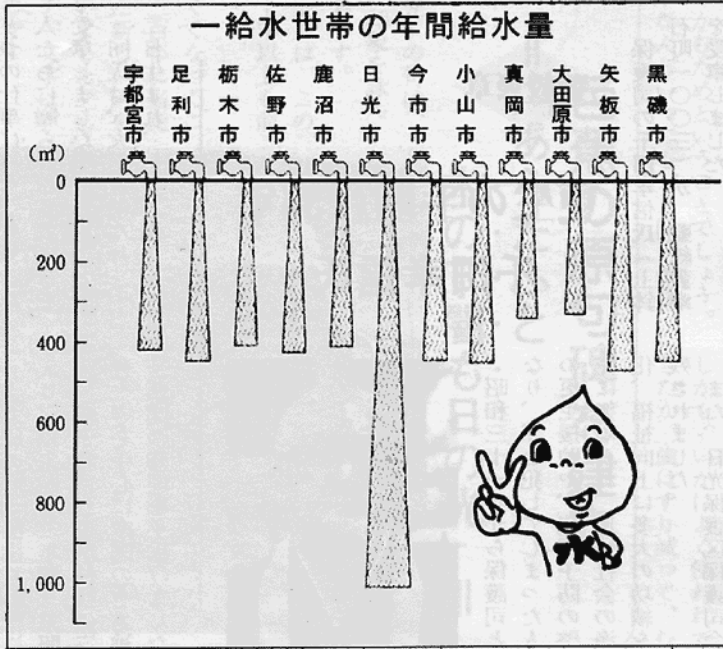
県内の料金を家事用（基本料金十立方メートル）に例をとると、最高は小山市の千七百二十円、最低は日光市の四百円です。

県内十二市平均では九百八十七円、町村平均は千五百五十六円で、県平均の料金は、千三百三円になっています。

国内の料金をみると、最高額は愛媛県上島水道企業団の四千三百七十円で、日光市の十倍もの料金を負担しています。

このように、高額になってしまふ理由は、水源の大部分を海底送水パイプによって離島へ給水しているために、経営費用が高くなっているからです。

最低は兵庫県赤穂市と東京都昭島市の三百円で、全国平均は、千九百円になっています。



すから、高額負担にもかかわらず、供給を受けなければならない地域にくらべ、市の水道料金はいかに安いかが、ご理解いただけたことと思います。

左の図をごらんください。この図は、県内十二市別に、一給水世帯が一年間に使用する水の量を、グラフにしたものです。

水の使用量は、文化のバ

豊富な水量 清澄でおいしい 日光の水

ロメーター」ともいわれ、十二市を比べると、日光市は他市の二倍以上、約千立方メートルにもなります。この使用量について分析してみたいと思います。

市では、昭和四十年代、県内の市町村に先駆けて、湯元・中宮祠地区に公共下水道が開設され、さらに昭和六十二年三月から、日光地区が一部供用開始となりました。

また、旅館、店舗、官公署、一般家庭等の浄化槽普及率が高いために使用量が多くなることは当然のことです。

さらに、大きな要因として

「日光の水を飲んでみると、よその水は、まずくて飲めない。」と皆さんは、言います。が、そのことが昭和五十九年厚生省の分析結果として、化学的な基準が示されました。判断基準は、硬度や蒸発残渣物、塩素イオン、鉄、PH、

日光の 水道水は 特級水

考えられるのが、冬期における出し放しです。地域性もあるため、凍結防止の方法として、やむを得ない状況もありますが、使用量には大きく影響します。

水道経営の面からは、収入の増加につながりますが、出し放しが多くなれば、水道施設の増強を図ることになるため、結果は受益者の負担、すなわち水道料の値上げになってしまいます。

冬期のむだ水をなくすには、皆さんの絶大な協力が必要で

水道課では、冬期対策について、いろいろな器材を用意しておりますので、お気軽にご相談ください。

むだ水を無くしても、日光市の使用量が多いとき、真の文化都市といえるのではないのでしょうか。

全国のおいしい水道

- 特においしい水
 - 日光市・荒沢川
 - 前橋市・浅井戸
 - 東京都杉並区・浅井戸、善福寺周辺
 - 青森市・横内川
 - 熊本市・深井戸
 - 善福寺周辺
 - おいしい水
 - 札幌市・豊平川
 - 松本市・浅井戸
 - 名古屋市・木曾川
 - 岐阜県八幡町・湧水
 - 新潟市・信濃川
 - 広島市・太田川
 - 金沢市・犀川
 - 比較的好い水
 - 会津若松市・猪苗代湖
 - 横浜市・相模川、酒匂川……など
- [厚生省調べ、・の後は水源]

臭味などを「おいしい水の要件」として、文献や専門家の意見も参考に、特においしい水「おいしい水」比較的好い水「の三階級にまとめたものです。

この結果、市街地の大半に供給している荒沢川をはじめ、他の川についても六項目をクリアして「特においしい水」として、お墨付きができました。(右の表)

現在では、観光客にも飲んでいただけるように、国道沿い三か所に水呑み場を設けていることは、皆さんもご存じのとおりです。

市の公共下水道は、東町と七里地区の一部で使用できるようになり、すでに五百世帯が水洗便所になりました。市では、使用可能になった

区域の皆さんには、健康で文化的な「まちづくり」のため、一日も早い使用をお願いしており、西町以西の上流地域を整備するための中央幹線工事に着工しました。

このように、公共下水道の普及や七里土地区画整理事業の完成による需用水量の増加に対処するため、日光地区上水道第五次拡張工事を進めております。

この工事は、昭和六十三年度と平成元年度の二年間で、二億九千九百万円の予算になり、初年度工事は、大谷川左岸・日光小付近の井戸を始めとする関連施設の施工を行いました。平成元年度は、道路に水道管を埋設する工事が主となりますので施工については、ご理解とご協力を、お願いいたします。